



## マイピー号の物語

副校長 広木 敬子

児童のみなさん、そして保護者・地域のみなさん、舞岡小の校庭や外周道路でカラフルなリヤカーが動いているのに気が付きましたか？

この車は「マイピー号」といいます。舞岡小の用務員、山口さんと梶田さんが道具や荷物、落ち葉などを運ぶのに使います。

このマイピー号は、実は大型ごみとして捨てられていたリヤカーだったのです。鉄の骨組みは錆びて、タイヤはパンクし、板もぼろぼろ。もう使えないと思われても無理はないほどの古さに見えました。

しかし、山口さんはそれを見てこう思ったのでした。「これは、直せる」。

山口さんが古い板やタイヤを外し、新しい板を用意していたとき、それを見ていた梶田さんが思ったのは「カラフルなリヤカーにできそう！」。保育園で働いていたときにたくさんのイラストを描いていたからだそうです。

休校中から夏休みにかけて、リヤカーの修理作業は続きました。そしてとうとう完成したのです。舞岡小にちなんだマイピーやハスの花、鳥たちや虹が可愛く描かれ、手作りのあたたかさが伝わってきます。

まだ使えるものは、大切に使う。少し壊れても、直して使う。作った人や使っている人の思いを想像する。これからもそんな気持ちを大切にできる学校でありたいと思います。

マイピー号は運動会の日も活躍しています。ぜひご覧ください。



人気のマイピー  
(30周年キャラクター)



心をこめて直していただきました

## 10月 各学年の活動の様子

### 1年生「あきといっしょに」

学校や地域の公園などで秋探しをして、たくさんのドングリを拾いました。集めたドングリを使って、こまやマラカス、迷路などを作って自然に親しんでいます。「もっとよく回るこまが作りたい。」や「可愛く飾りを付けたいな。」など、活動を広げている様子も見られました。



### 2年生「ためして あそんで くふうして」

集めた廃材を並べたり積んだり転がしたりして試す中から、遊びを考えたりおもちゃ作りをしたりして、楽しみました。

活動を進める中で、「こうするといいよ!」「ルールを決めよう」など、関わり合いながら遊びを広げることができました。



### 3年生 「二ーハオ!」

今年は、夏先生と一緒に楽しく国際理解の勉強をしています。

日本と中国の小学校の違いや、食べ物の違いなどについて学んでいます。

食べ物クイズでは、「中国のおもちは、日本のよりめっちゃめっちゃ細い。」と驚く様子が見られました。



### 4年生 「吉田新田社会科見学」

10月15日に、社会科で学習している吉田新田のあった場所まで見学に行きました。実際に歩いたりユーラシア文化館の見学をしたりして、子どもたちからは「ここが元々は海だったのか。」「橋がつく名前の場所が多いな。」などと、横浜の歴史を感じながら学習することができました。



## 5年生「米づくり見学」

社会科の学習で、農家の方はどのようにして米を作り、おいしい米を作るためにどのような工夫や努力をされているのか学習してきました。

教科書や資料集で調べていくうちに、農家の方に話を聞いてみたいという意欲が高まり、地域の小泉さんの田んぼを見学させていただきました。収穫された脱穀前の新米を見たり、たくさんの質問に答えていただいたりして、学習を深めることができました。



## 6年生「片品日光宿泊体験学習」

1泊2日で片品日光へ行ってきました。舞岡にはない自然や伝統、歴史に触れることができ、充実した時間を過ごすことができました。事前に調べたり話し合ったりして準備を進めてきたからか、当日は進んで行動する姿や、声をかけ合い協力して取り組む姿も見られました。楽しみながらも周りのことを気にかけてたり、感謝の気持ちをもって行動したりする姿に感心しました。

これからの行事でも成長が楽しみです。



## 個別支援級「新教室」

楽しみにしていた3組の新しい教室が完成しました。2階の旧図工準備室、旧図工室の場所に引っ越しをしました。机や椅子などの荷物を運び、今まで使っていた教室とのお別れに寂しそうな姿が見られましたが、新しい教室に入ると「すごい」「きれい」など大喜びでした。これからの新しい教室での活動が楽しみです。



## 専任より

先日、6年生の日光修学旅行に引率しました。子どもたちは、片品の自然を楽しみ、日光の歴史をめぐり、とてもよい体験をしたと思います。宿泊先では、食事を作って下さった宿の方に感謝の気持ちを素直な言葉と態度で示す姿に好感がもてました。友だち同士で協力することも多く、行事を通して関係を深めることもできたことと思います。今後、大きな行事として運動会があります。子どもたちは、友だちと協力したり、共に活動することの一体感を味わったりすることができると思います。しかし、その過程で上手にできないことのストレスや疲れ、友だちに自分の思いが伝わらない、、、など様々な困りごとが出てくる可能性もあります。学校と家庭で協力して、子どもの心を支えていきたいです。「いつでも話を聞くよ。」と伝えておくだけで安心感がありますので、どうぞご協力をよろしくお願いいたします。